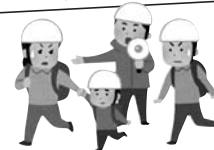


一人一人の「備え」で減災を

夏から秋にかけては、台風による大雨など自然災害の起こりやすい季節です。日ごろの備えや防災情報などの入手方法を確保するとともに、町と地域の皆さんが協力し防災体制を整えることで、被害を最小限に抑える「減災」につながります。

また、災害が起きたときの避難には、これまでと違い、新型コロナウイルスなどの感染症対策が必要になります。いつ起こるか分からない危機に対応するために一人一人の「備え」が大切です。

警戒レベルによる避難情報



災害の発生前または発生時に、町長が発令する避難勧告などの避難情報の違いを理解し、自分の身を守ることが大切です。

7月に発生した九州各地の豪雨で発表された大雨特別警報は「警戒レベル5相当」で、とるべき行動は「命を守るための最善の行動」とされています。

浸水や土砂崩れなどの災害が発生する恐れがあるとき、自らの判断で早めに行動することが重要です。

警戒レベル	避難情報・行動など
警戒レベル 5 (黒色)	災害発生情報 すでに災害が発生 命を守るための最善の行動をとりましょう
警戒レベル 4 (紫色)	避難勧告・避難指示(緊急) 公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や自宅のより安全な場所に避難しましょう
警戒レベル 3 (赤色)	避難準備・高齢者等避難開始 避難に時間を要する方(高齢者、障がいのある方、乳幼児など)とその支援者は危険な場所から避難しましょう。その他の方は、避難の準備をしましょう
警戒レベル 2 (黄色)	洪水注意報、大雨注意報 など 避難に備え、防災マップなどにより自らの避難行動を確認しましょう
警戒レベル 1 (白色)	早期注意情報 災害への心構えを高めましょう

気象庁からのお知らせ

気象庁では、近年の災害を踏まえ、一部の防災気象情報の発表基準を変更しました。

■大雨特別警報の発表

大雨特別警報は、台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合に発表されます。

■洪水警報、注意報の発表

最新の災害資料などを用いて、より災害を適切に捉えるように見直しました。

今回の基準変更により、警報など発表時の空振り率が低下する見込みとなっていますので、今後大雨警報や洪水警報などが発表された際には、より警戒していただき、最善の行動をとるようにしましょう。

地域ぐるみで安全・安心を守る

新型コロナウイルスなどの感染症を意識した避難を

避難所では、「手洗い・咳エチケット」や「3密(密閉・密集・密接)の回避」、「消毒」、「健康状態の確認」などの対策を行います。一人一人の備えが欠かせません。

①在宅避難

自宅の安全が確保できる場合は、無理に避難する必要はありません。
1階から2階など高いところへ移る「垂直避難」の対応をください。(避難所に行くことが困難な場合も有効です)



②安全な場所の親戚・友人宅などへの避難

避難所への集中を少しでも緩和させるため、親戚や友人宅への避難も検討してみてください。
また、緊急時の避難先として良いか事前に確認しておきましょう。



③衛生用品の備え

マスク、アルコール消毒液、体温計 など
※マスクやアルコール消毒液がない場合は、ハンカチやウエットティッシュなどでも有効です。



地域を守る自主防災組織

自主防災組織は、災害から自分たちの地域は自分たちで守るという「地域ぐるみの協力体制」のことをいいます。災害時は、役場などの防災機関と連携して、情報収集や避難の誘導、避難所の運営などを行います。

また、平常時は防災知識の普及や防災訓練を実施するなど、いざという時に備えます。

現在、6町内会、2実践会で組織が設立され、自主防災の意識が高まり、一部の地域では、世帯情報を収集して一人暮らしや高齢者世帯などで災害が発生した場合の緊急時の支援につなげる動きが進んでいます。

他の自治会においても地域住民が協力して避難できるように自主防災組織を立ち上げ、自分たちの手で地域の安全・安心を守りましょう。

「サポートメール@防災くんねっぷ」に登録を

「サポートメール@防災くんねっぷ」は、訓子府町の防災、災害時などの緊急を要する情報が携帯電話やスマートフォンの電子メールで確認できる登録制のメール配信サービスです。随時、登録を受け付けていますので、ぜひ登録してください。

☆登録方法 携帯電話などから下記メールアドレスまたは右のQRコードを読み取り、空メールを送信してください。

【メールアドレス】 touroku@town.kunneppu.hokkaido.jp

【QRコード】

